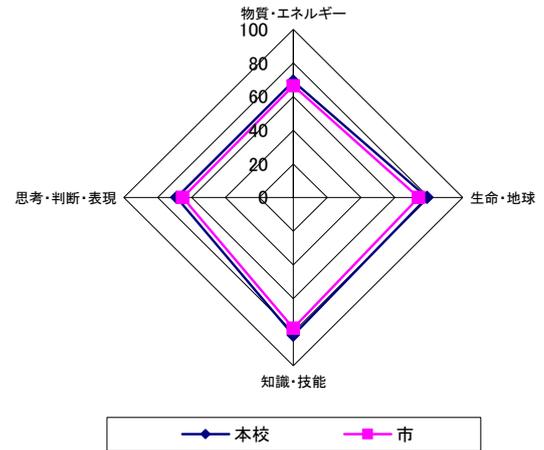


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	69.1	66.5	66.3
	生命・地球	79.0	74.0	72.6
観点別	知識・技能	81.8	77.6	78.2
	思考・判断・表現	68.8	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均よりも高い。</p> <p>○木が燃えたときの、かんの中の各気体の割合の変化について理解しているか問う設問の正答率は、90.9%で、市の平均を3.1ポイント上回った。</p> <p>●電磁石の性質をもとに、おもちゃの車が走るように改善する方法を記述する問題の正答率は54.4%で、市の平均を4.2ポイント下回った。また、無回答率もやや高かった。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・観察や実験の際に、学習内容を身の回りの事象と結び付けながら仮説を立て、仮説を確かめられる実験方法を考える。仮説から考察までの一連の流れを丁寧に行うことで、目的意識をもって実験に取り組むことができるようにしていく。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市平均よりも高い。</p> <p>●「動物のからだのつくりとはたらき」の設問について、消化について理解しているかの設問では、正答率は71.4%で市の平均を10.6ポイント上回っているが、無回答率が13.0%と他の設問と比べて高かった。</p> <p>○ほとんどの設問において市の平均正答率を上回っており、学習内容の定着が見られる。</p>	<p>・設問に対して、学習した言葉を使って自分の考えを表現する機会を多く設け、自信をもって記述することができるようにしていく。</p> <p>・天気や月と太陽の単元では、実際に観察することが難しいため、モデルや図を提示することで理解を図り、見方や考え方をもちつことができるよう、実験方法を工夫していく。</p>